

2011年5月1日(日曜日)

ふるさとに夢と希望 そしてもっと活力を

西川県政3期目がスタート!

4月10日の選挙で、西川一誠知事が3選を果たしました。

翌日の4月11日には登庁。職員に訓示し、記者会見に臨みました。

これまでの2期8年間で、失業率の低さ、有効求人倍率の高さが全国最上位となり、子どもの学力・体力も全国トップクラスとなるなど、全国に誇れる成果を上げました。

そこで西川知事は、今後、強い産業や安定した雇用、さらには、医療・福祉、子育て、教育など次の課題に積極的にチャレンジし、「夢と希望にあふれるふるさと福井」をめざす決意を熱く語りました。



記者会見で3期目の抱負と決意を熱く語る西川知事

4つの「元気」を柱に政策を実行 ～将来ビジョンの実現に向けて～

昨年末に県民の皆さんとともに「福井県民の将来ビジョン」を策定し、おおむね10年後の福井の将来像とそれを実現するための骨太な戦略を描きました。

「福井新々元気宣言」では、「福井県民の将来ビジョン」を指針として、これからの4年間に行う具体的な政策を掲げています。

まず、「元気な産業」を第一の柱として、県民生活の基本となる経済、産業、雇用に関する政策を重点に、福井新時代の基礎づくりを行います。

新しい産業を育成するとともに、安定した働き口を確保することにより、一日も早く景気の低迷から脱し、県民生活を安定させ、福井から日本を元気にしたいと考えています。

そして、「元気な社会」、「元気な県土」、「元気な県政」を合わせ、4つの元気を柱に政策を実行し、「夢と希望、活力にあふれるふるさと」を目指します。

4月中には、知事と部局長等が4年間に実行する施策の基本的な方向性について議論しており、今後、6月補正予算において具体的な目標を掲げ事業を進めていきます。



県民と語り合う西川知事(座ぶとん集会)

「福井新々元気宣言」4つの「元気」と12の政策

元気な産業

1. 技術と戦略で勝ち抜く福井の産業
2. 新しい方向をひらく農林水産業
3. 観光とブランドを産業の柱に

元気な社会

4. 日本のモデル「福井の教育」
5. すぐれた医療と支えあいの福祉
6. 若者のチャレンジと女性の活躍を応援
7. 日本一の安全・安心(治安向上から治安実感へ)
8. 豊かな環境、もっと豊かに

元気な県土

9. 県土に活気の高速度交通時代
10. 原子力の安全対策を見直し信頼へ、研究開発で貢献

元気な県政

県内原子力発電所の安全をしっかりと確保

西川知事は4月11日の記者会見で、「国任せにすることなく、今回の事故やその原因を踏まえて、暫定的であっても、国は原子力の安全基準を見直す必要がある。県としても、項目や基準など具体的に国へ申し上げていく」と述べ、県内の発電所では、このような事故を絶対に起こさせないよう国や事業者に対し安全対策全体の見直しを求めていく考えを示しました。

そして、3月17日の経済産業大臣政務官への要請に続いて、4月19日には、経済産業大臣に新たな安全基準の設定を強く申し入れ、「県民が納得できる形になるようしっかりと説明していく」との返答がありました。

また、県では、東日本大震災の直後、いち早く災害対策支援本部を設置。その日のうちに警察・消防・医師など総勢157名を被災地に向け派遣したほか、被災者支援のための対策を確実に実施しています。

[主な県の対応]

- ・ 義援金・救援物資の募集(救援物資の受付は終了しています)
- ・ 地震の影響を受けた中小企業を対象に県制度融資の要件緩和
- ・ 県内への避難者のための「被災者受入相談室」の設置
- ・ 被災した自治体への「ふるさと納税」の手続き代行

さらに、数多くの県民の皆さんから義援金や救援物資を提供いただいているほか、3月25日からは、災害ボランティアとして、現地で頑張ってください。

西川知事も被災地を訪れ、災害ボランティアの皆さんを激励するとともに、関係首長と面談し、できる限りの支援を約束しています。



経済産業大臣に、あらためて
県内原発の安全対策を要請



被災者のために活動している
災害ボランティアの方たち

「知事へのおたより」県政に対する夢あるご提案を

郵送	〒910-8580(住所不要)県民サービス室 知事へのおたより係り
FAX	0776(20)0622
県HP	「ようこそ知事室へ」 から (お名前、ご住所、電話番号を忘れずに)

